

総合型選抜 基礎力判定方式

基礎確認テスト 国語 文章読解サンプル問題

「総合型選抜 基礎力判定方式」の基礎確認テストについて、2027 年度入試では「国語」で文章読解を新たに出題します。以下がサンプル問題となりますので、参考にしてください。

なお、過去問題については本学ホームページで公開していますので、あわせてご覧ください。

過去問題掲載 URL : <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/exam/past/#sec12>



【国語 文章読解】

次の文章は、どのようなことを述べたものか。その説明として最も適切なものを選びなさい。

食料危機や飢餓は、日本に住む多くの人にとって身近ではない。スーパーには食料品があふれているし、食事に困った経験をする人は多数派ではない。しかし、実は日本は「隠れ飢餓の国」と言われている。

農林水産省が発表する日本のカロリーベースの食料自給率は 2022 年は 38% であり、G7 諸国の中で最も、そして際立って低い。もし輸入が途絶えたり、「買い負け」が起きたりすれば、すぐに食料危機に陥ってしまう。さらに深刻なのは、食料生産に関わるプロセスすべての資材を含めて計算すると、この自給率が 18% まで下がるということだ。これは「投入法カロリーベース食料自給率」と言われている。食料を他国に依存し、経済力でそれを補っている状態であるから、もし世界的に食料の争奪戦が起きたり、輸入停止が起きたりすれば、たちまち深刻な危機に陥ってしまう。

- ア 食料危機に対する人々の危機感が、いかに不十分か。
- イ 日本の食料に伴う現状が、公式な見解と比べていかに深刻か。
- ウ 日本が食料を他国に依存し、経済力に頼ることがどれほど危ういのか。
- エ 「隠れ飢餓」という現状はどんな将来を引き起こす可能性があるか。

《正答》 ウ